

「平成 30 年度 新任（保育士・保育教諭・職員）研修会」 報告書

- 【期 日】 平成 30 年 5 月 8 日（火）
【会 場】 メートプラザ佐賀
【主 催】 佐賀県保育会
【参加人数】 127 名



【内 容】

研修 1 10 : 00 ~ 10 : 25

「基調報告」：指山 健次郎 氏（佐賀県保育会会長）

研修 2 10 : 30 ~ 12 : 00

「こどもの未来 私の未来～保育を語りあうことからはじめよう～」

講師：蒲池 房子 氏（清華こども園 園長）

研修 3 13 : 00 ~ 16 : 00

「現場からの提言～すてきなあなたへ～」

講師：北野 久美 氏（全国保育士会 副会長/あけぼの愛育保育園 園長）

研修 1 「基調報告」

講師：指山 健次郎 氏（佐賀県保育会会長）

- ・ 子ども・子育て支援新制度—3 年前から新制度に
- ・ 待機児童の状況—1,2 歳児が特に多い
- ・ 保育士不足—保育士 1 人に対し 3~4 園が求人
- ・ 保育所保育指針の改定

2、新任保育士の方々への課題として

- ・ 挨拶、笑顔、元気
 - ・ 時間を守る
 - ・ 失敗を恐れない
 - ・ 自分をアピールする
 - ・ 給料をいただくという意味
- } 基本



研修2 「こどもの未来 私未来～保育を語りあうことから始めよう～」

講師：蒲池 房子 氏（清華こども園 園長）



- ・今年歴史的な転換期一国が保育園もこども園も幼稚園も同じ幼児教育施設であると認めた。どの施設にいても同じスタートラインに立っている。

(清華保育園の入園式に保護者向けに流すスライド放映)

- ・「育てているつもりが育てられ」「こどもの可能性を信じる事」「こよなく愛すること」「園は限りない優しさで子どもたちを育てていきます」等のメッセージを載せて保護者に園ではこういう保育をしているのですよと知らせている。

(茶摘みのスライド)

- ・ウェルカムホールで1時間くらいずっと映像を流している。言葉では伝わりにくい。映像で見ることによって、より理解が深まっている。

(清華保育園 園だよりより)

- ・園の保育をする上での大事なところを園だよりや玄関、靴箱の上、廊下、クラスなどに掲げるだけで保護者に伝わる。
- ・新採の保育士に「園から配布するものすべてに目を通しなさい。わからないときは先輩にその時に聞きなさい」と言っている。

(たまたばこ同窓会について)

- ・10年後のわが子に向けてのメッセージを保護者に書いてもらい、10年後15歳になった子どもたちにそのメッセージを読んでもらっている。

(子どもは未来 スライド)

- ・人を愛すること愛されることを学ぶこと
- ・子育てはかけがえのない時間
- ・愛されているその安心感が全ての活動の源
- ・私たちの仕事は子どもの未来につながっている。

研修3 「現場からの提言～すてきなあなたへ～」

講師：北野 久美 氏（全国保育士会 副会長/あけぼの愛育保育園 園長）



- ・震災ボランティア活動経験について—傾聴ボランティア活動
保育士とは・・・子どもの代弁者である！対人援助者である（子どもの背景には保護者がいる）
感情労働者・・・自分の感情を押し殺して違う感情に乗かって仕事をする。
適切な援助とは・・・常に相手の状態を観察しそれに伴った対応を変えていく。
保育は・・・保育士は・・・知的好奇心と柔軟な思考が大事
毎日が新しい経験！「はひふへほ」の連続 ベテランも新任も同じ

保育のシステムについて

ものすごく変わったがシステムの本質は変わらない。

遊びを通して学ぶということが大事ということを訴えてきたが一般の人たちには伝わらない（遊び=娯楽）という考えと誤解

学校前の準備期間なのではなく人生における幅広い準備期間

人としての根っこの時代

チームで仕事をするということ（事例 食育）

食と健康—おなかがすくリズムの持てる子ども、一緒に食べたい人がいる子ども

わからない—わからないでいい。知ったかぶりはダメ。保育についてはプロだが人生経験は少ないので、小さなことでも勝手な判断はしない。先輩や主任に尋ねる。

（チャイルドビジョン 実践）子どもは視野が狭い

倫理綱領について

倫理—人の道 綱領—物事の大切なところ 行動規範

保育所保育指針のポイント—養護と教育が一体となった保育の言語化

保育士の歌に込められたもの *私たちがいるんです

◎報 告

長い経験と実績で培われたアドバイスがたくさんあり、スライドや実践を取り入れ分かりやすく話されていて、保育士とはこどもの代弁者。こどもの可能性を信じることを等これからの保育の道標となることを教えてもらえた。わからないことは知ったかぶりせず先輩に聞くということや、保護者への対応など日々の保育の中であらゆる場面で起こり得る事（噛みつき等）の対処の仕方を具体的な言葉で述べられてあり、大変役に立つ講習だったと思う。

（文責：鏡保育園 川村好子）